

史跡探訪感想文

市内―夏期市内史跡探訪、観海寺地区について

石川 学

平成二十三年八月二十八日（日）、別府史談会主催の「市内史跡探訪、観海寺地区」に参加しました。南立石の天満天神神社を九時に出発、別府史談会会員等四十三名が参加しました。

菅原道真を祀る天神社は明暦三年（一六五七）に勧請されたというお話が後藤重巳史談会会長からありました。

昨日までは天候も優れなかったが、今日は汗だくの好天気となりました。

宗像掃部かもん記念碑が神社境内右手、北側に新しく移動されました。南立石本町の荒金さん宅の屋敷内に祀っていたのを道路改修工事のため平成二十三年一月、天満神社境内に移されました。

山手西方の陸橋を渡った場所が石垣原合戦の大友方左翼の宗像掃部の陣所跡です。ここに北白川宮成久親王の覽古碑や

征露軍人記念塔（田屋地蔵）、その他が集められています。三重野勝人副会長、松岡謙一郎理事から史跡の説明がありました。

さらに山手西側にある井上氏宅の竜のこて絵（立体形）を見学しました。

次に天満社側へ戻り、大友義統本陣跡の石碑、及び本陣跡の大きな家門のある古屋さん宅の前を通りました。

旅亭松葉屋の古武伸剛さんの案内で、杉の井ホテル経営の地熱発電所前にて記念写真を撮りました。

次に観海寺橋を渡って薬師堂の薬師湯を見学しました。昭和六年に観海寺地区が大火で十九戸が全焼しましたが、この薬師堂は奇跡的に焼け残ったといわれています。

右手の急な石段を登ったところに観海禅寺があります。本堂に向かって左側には式子内親王と二条義実の墓があります。本堂左手前には杉の井旅館に泊まった特攻隊員をなぐさめる憩翼碑けいよくが元杉の井旅館の女将の手で建立されています。観海寺の前でも記念写真を撮りました。

薬師堂近くの旅亭松葉屋で休憩、軽食が出されました。同時にスライドプロジェクターによる観海寺ウォークの復習が行なわれました。

最後に石垣原合戦の大友方右翼の吉弘統幸陣所跡及びみゆき台公園の説明を聴いた後、史跡探訪会は終了しました。史談会の会員達は観海寺ウオークに満足して、それぞれ帰途につきました。



事務局より

当会では、皆様の研究成果を広くお読みいただき、会員のお互いの研究を深めたいと考えています。ぜひ原稿をお寄せ下さい。



詳細は114ページの「『別府史談』原稿募集について」をご覧ください。